

授業科目	*臨床栄養管理学					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	森山 美加代						
授業概要	<p>臨床栄養とは、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理を行うことである。そのために、具体的な栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)、栄養補給、栄養教育、モニタリング項目、食品と医薬品の相互作用等について、理解を深め、総合的な栄養ケアマネジメントの考え方を修得する。また、医療現場では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等が様々な視点から、患者の治療を進める「チーム医療」が行われており、管理栄養士は栄養の専門家として、適切な栄養評価や栄養管理ができなければならない。</p> <p>本科目では、医療・福祉関係に従事する管理栄養士が医療を提供するチームの一員として栄養管理を担っていることを十分に理解し、適切な栄養管理を行うための知識と技術を修得することを目標とする。また、実務家教員として病院勤務経験を有し、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理の実際を授業で展開していく。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法					

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<p>傷病者のQOLの向上を目的とした医療チームの一員として管理栄養士が備えておくべき栄養管理の専門知識や技術の基本を学ぶ。さらに、保健、医療、福祉との連携の中でも、ケア・マネジメントに参画できる能力を養うことを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床栄養学の意義と目的、チーム医療における管理栄養士の役割を理解し、説明できる(DP-3-1) 2. 栄養スクリーニング・栄養アセスメントの意義および方法を理解し、説明できる(DP-2-1) 3. 栄養管理のためのスクリーニング、アセスメント、ケア計画、モニタリング、再評価の方法について説明できる(DP-2-1) 4. 栄養補給法および薬と食物の相互作用について説明することができる(DP-1-2) 5. 栄養ケアの記録を作成することができる(DP-4-2)
理想的レベル	標準的レベル1~5の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、福祉・医療従事者との連携・協働する方法を説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合(数値)	備考
試験	80%	
小テスト	20%	
レポート	0	
発表(口頭、プレゼンテーション)	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NT21801J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題(予習・復習)

1回の目安時間(時間)

各回のテーマの予習をし、授業内で学んだことを復習し、整理して理解する

4

授業計画

授業計画	
第1回	テーマ：臨床栄養学の概念 臨床栄養学の意義と目的について解説する
第2回	テーマ：医療、福祉・介護と臨床栄養 チーム医療における管理栄養士の役割、医の倫理やチーム医療を行う意義について解説する
第3回	テーマ：医療制度・介護制度の基本1 医療保険制度について解説する
第4回	テーマ：医療制度・介護制度の基本2 介護保険制度について解説する
第5回	テーマ：傷病者・要介護者への栄養アセスメント1 栄養スクリーニングの具体的手法、栄養アセスメントの概要について解説する
第6回	テーマ：傷病者・要介護者への栄養アセスメント2 栄養アセスメントについて解説する
第7回	テーマ：傷病者・要介護者への栄養アセスメント3 臨床検査からみる栄養状態の評価・判定について解説する
第8回	テーマ：傷病者・要介護者への栄養アセスメント4 身体計測からみる栄養状態の評価・判定について解説する
第9回	テーマ：傷病者・要介護者への栄養アセスメント5 食事調査からみる栄養状態の評価・判定について解説する
第10回	テーマ：傷病者・要介護者への栄養アセスメント6 栄養素等必要量の算定、評価・判定について解説する
第11回	テーマ：栄養・食事療法と栄養補給法1 経口栄養補給法・経腸栄養補給法・静脈経腸栄養補給法、それぞれの目的や適応疾患について解説する
第12回	テーマ：栄養・食事療法と栄養補給法2 経口栄養補給法・経腸栄養補給法・静脈経腸栄養補給法、それぞれの投与方法、合併症の有無について解説する
第13回	テーマ：薬と栄養・食物の相互作用 栄養・食品が医薬品に及ぼす影響と医薬品が栄養・食事に及ぼす栄養について解説する
第14回	テーマ：栄養ケアの記録、栄養教育の実施1 栄養ケア記録の意義、問題志向型システムの考え方について解説する
第15回	テーマ：栄養教育の実施2、モニタリングと再評価、栄養ケアの修正 行動科学理論とカウンセリングの応用について解説する。また、モニタリングのポイントと再評価、栄養ケアの修正について解説する
テキスト	本田佳子、曾根博仁編集：栄養科学イラストレイティッド 臨床栄養学 基礎編 第3版(羊土社) 講義に使用する説明資料は、必要に応じて配付する
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	佐藤和人・本間健・小松龍史編著：「エッセンシャル臨床栄養学」(医歯薬出版) 奈良信雄著：「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック」(医歯薬出版)
課題に対するフィード	小テストは、採点後、返却を行うため必ず復習をする

バックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	疾患の成因・病態および治療法に関する「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」といった科目に加え、社会保障制度に関する「公衆衛生学」の科目知識がベースとして必要である。管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、次回の講義内容について、予習して授業に臨んでください。

